

2023年度 オホーツク地区4種委員会に関わる大会等の運営方針

◎基本方針「プレイヤーズファースト」「リスペクト」の精神にもとづき、地区全体の大人（指導者・保護者・関係）の努力によって、地区全体の子どもたちに良い環境を提供し、クリエイティブでたくましい人間の育成をめざそう。

《今年度の重点》

4種年代の登録選手数の大幅減の実態を受け、引き続き4種年代のサッカー人口拡大を目指し各種事業を運営する。地区の子どもたちのために、よりよいサッカー環境を提供し、サッカーファミリーの拡大を実現したい。以上の考えにもとづいて、ファミリー拡大を今年度の重点とし各種事業の運営を行う。

《確認事項》

○4種役員について

4種役員は、基本的に各クラブ指導者から選任され、上記方針のもと4種委員会業務・事業を推進する。

○4種委員について

各クラブの代表指導者（1人ずつ）は、4種委員として上記方針のもと協会事業の運営に参加する。

4種委員は、事業当日、監督会議から大会運営そして反省会議まで参加すること。

○チーム編成について

サッカー：役員4人・選手16人まで（ちびリンのみ、役員4人選手16～20人）

フットサル：役員4人・選手15人まで※役員については、登録された指導者の入れ替わりも認める。

○大会エントリーの必要要件について

参加費：1参加チームあたり 8,000 円（不帯同審判料…1日 5,000 円）

指導者：公認 D 級以上の有資格者が 1 名以上チームに帯同（パンフレットに指導者資格を明記する）北海道大会にあっては、有資格者のみがベンチ入り可能 審判員：リーグ戦～毎節最低 2 名の審判員を帯同（必須）：カップ戦～土日共に最低 2 名（3 級 1 名・4 級 1 名）の審判員を大会に帯同 ※複数チームエントリーにあっては、エントリーするすべての出場チームが上記の「指導者」「審判員」の帯同要件を満たしていること。

○リーグ戦(U12/U-10)について

実施カテゴリー:「U-12」「U-10」とし、3人(4人)審判制を採用する。
試合時間:「U-12」20-5-20、「U10」12-3-12 U-10は、オーバーエイジ選手の出場を認める(対戦相手・審判団の了承を得ること)U-10は、4級審判員の実践・研修の場と位置づけ、優先して割り当てを行う。(上級者による協力体制をつくる)各年度に1回の指導者講習会を開催し、各クラブ1名以上の参加を義務付ける。(トヨタカローラ U-12大会で開催予定) ※第2ステージ以降のU-10の編成については、U-12の編成に合わせる。 ※キッズ年代(U-8等)を対象とした普及事業を第1ステージの中で行う。

○カップ戦(各種大会予選等)について

実施カテゴリー:U-12、Sフェス、全道フットサル、Fフェス : U-11~トラック、全農杯、全日本 U-12 :U-10~北北海道大会 3人(4人制)審判員を採用する。試合時間:「U-12」20-5-20、「U-10」12-3-12を基本とする。延長戦 :基本的に、準決勝、決勝において延長戦を採用する。ただし、準々決勝、3位決定戦が代表決定戦となる場合は、その試合にも延長戦を採用する。 ※フットサル大会~準決勝、決勝、3位決定戦(代表決定戦)においては、プレーイングタイムを採用する。
※大会1日目の日程終了後、指導者講習会を開催。(各クラブ1名以上の参加を義務付ける)

※フレンドリーマッチにおいて~

①審判服を着用する。

②4級審判員の主審経験を促進する。(本部で割当を調整)

③対戦は、運営事務局で対応する。

※各カップ戦準決勝以上に「マッチウエルフェアオフィサー」を配置する。

○選手の移籍について

移籍にあっては、選手の意向を尊重し、不利益になることのないよう、指導者間で連携を図る。協会への移籍手続きが完了次第、移籍先チームでの大会エントリー、出場を認める。

○緊急対策について

震災、洪水、雪害等の不測の事態が起きた(起きうる)場合は、役員で協議の上、大会方式の変更について決定する。また、大会を中止せざるを得ない場合、地区代表チームの選出については役員で協議の上決定する。
今年度同様、新型コロナウイルスによる感染拡大に最大限取り組むこととし、感染拡大状況次第でリーグ戦、カップ戦の開催要項の変更や開催(そのものを中止とする場合においても、役員で協議の上決定する。